

An aerial photograph showing a wide, muddy river flowing through a valley. The river has overflowed its banks, inundating large areas of green fields and residential areas with houses. In the background, dark green mountains are partially obscured by thick, grey clouds. The overall scene depicts the aftermath of heavy rainfall.

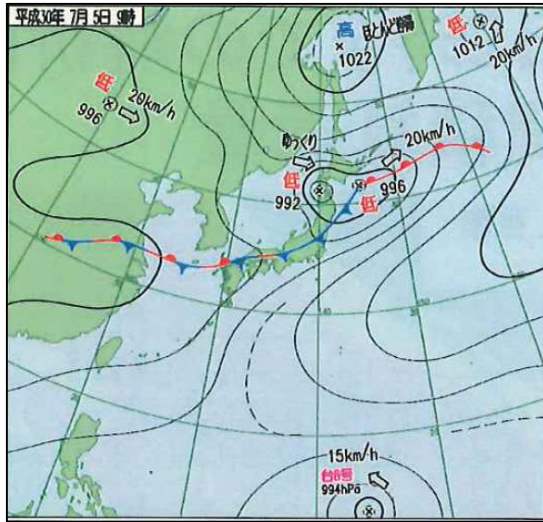
平成30年7月豪雨

島根県土木部河川課

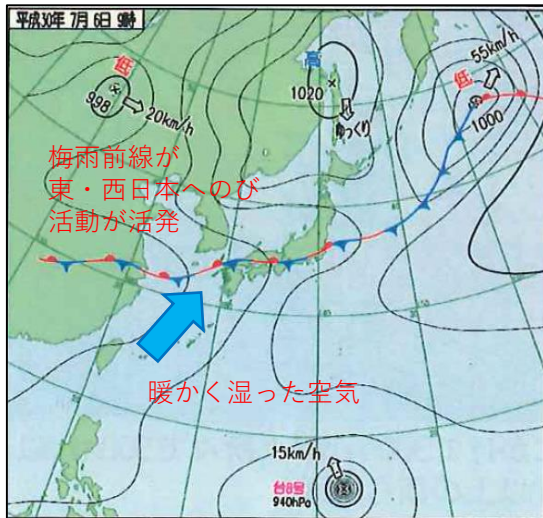
1. 気象状況

◎天気図

7月5日 9時

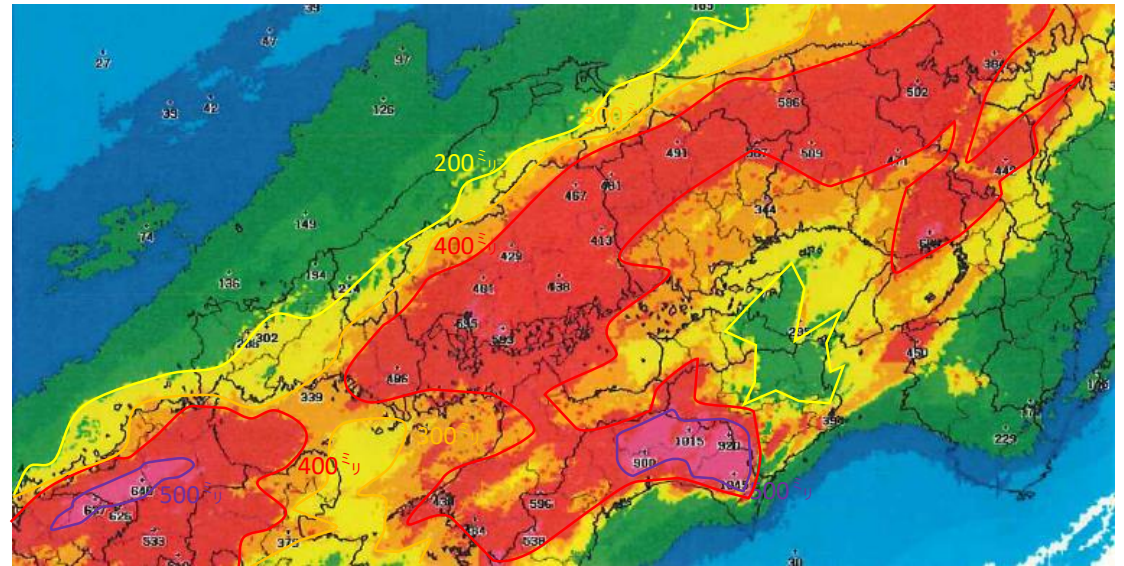


7月6日 9時



◎降雨状況

7月5日10時から7月7日9時までの48時間積算雨量



7月6日 19時40分

広島県、岡山県、鳥取県に大雨特別警報発表

2. 降雨量

◎主な観測所の総雨量【平成30年7月豪雨】

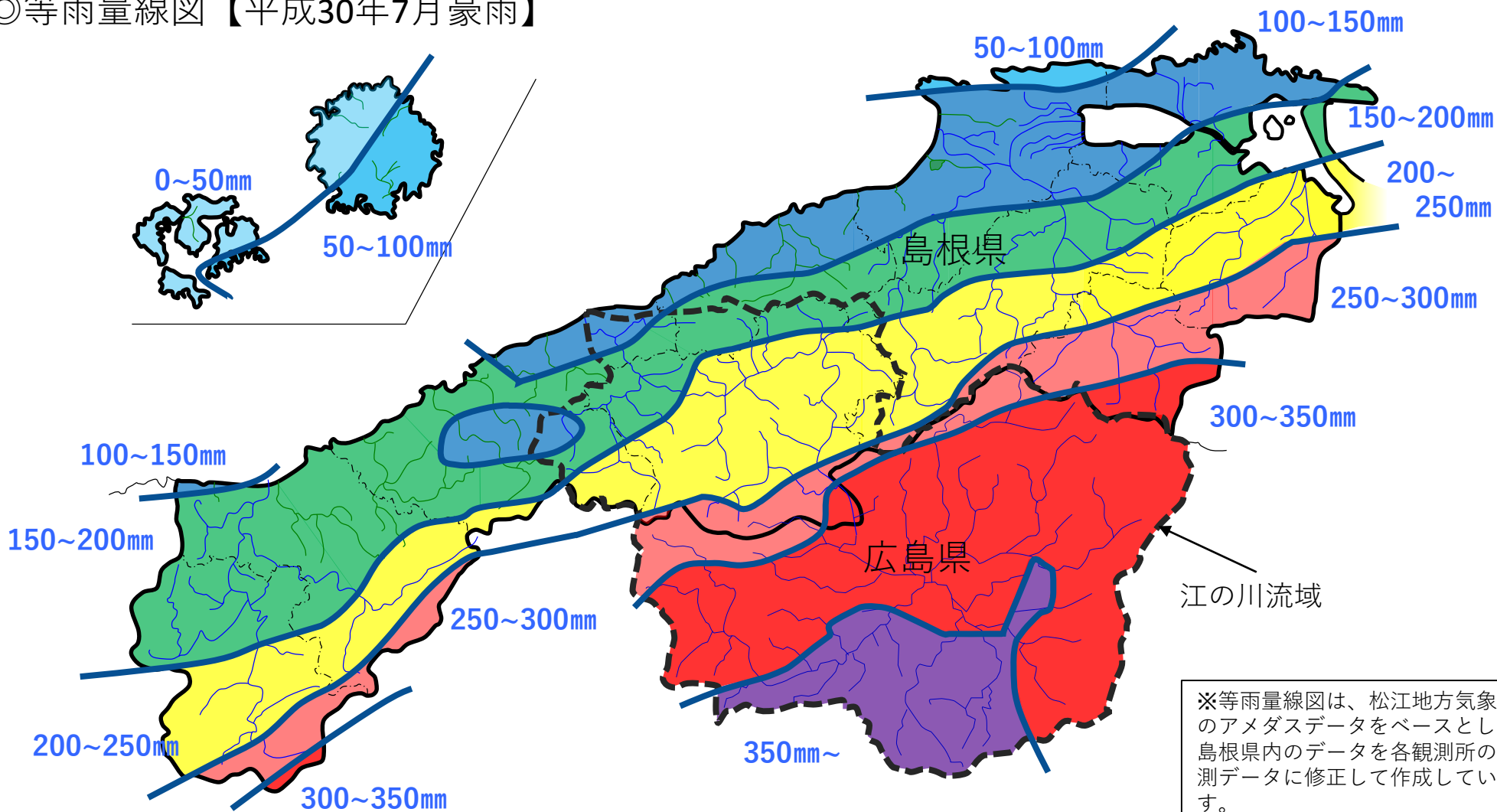
【江の川水系】

※7月5日0:00～7月7日24:00までの総雨量

観測所名	総雨量	所管
川本	2 1 9 mm	国
江津	1 5 4 mm	国
川戸	1 5 7 mm	砂防
都賀行	2 3 3 mm	砂防
八戸ダム	1 5 4 mm	県
波積	1 6 8 mm	県
下口羽	3 2 5 mm	県

2. 降雨量

◎等雨量線図【平成30年7月豪雨】



江の川上流域の広島県側では、総雨量400mmを超える雨が降っている地域がある一方で、下流の島根県側では、100~200mm前後の降雨量の地域が大半を占めています。

3. 江の川支川の浸水および被害状況

【江の川支川の浸水箇所】



平成30年7月豪雨の浸水被害の原因は、江の川本川の水位上昇により引き起ったものです。

これにより島根県側でも多くの支川が本川の水位上昇に伴う背水（バックウォーター）現象や逆流により家屋等の浸水被害が発生しました。

※整備箇所は、江の川水系河川整備計画より転記

青 字：支川の浸水箇所
赤 字：江の川の整備予定箇所
※枠囲い：事業中箇所

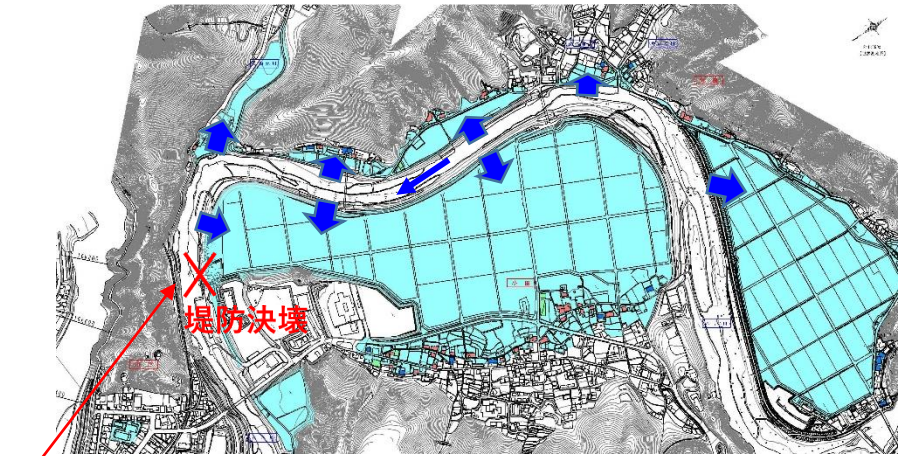
3. 支川の浸水および被害状況

【八戸川：堤防決壊および越水】



【家屋被害】
床上浸水：43戸
床下浸水：14戸

※家屋被害は、八戸川の被害調査の結果より引用



3. 支川の浸水および被害状況

【八戸川：堤防漏水】



3. 支川の浸水および被害状況

【小谷川】



小谷川トンネル放水路及び江の川の堤防整備の効果により、家屋浸水被害を防ぐことが出来ましたが、農地の一部は内水により浸水しました。

3. 支川の浸水および被害状況

【田津谷川】

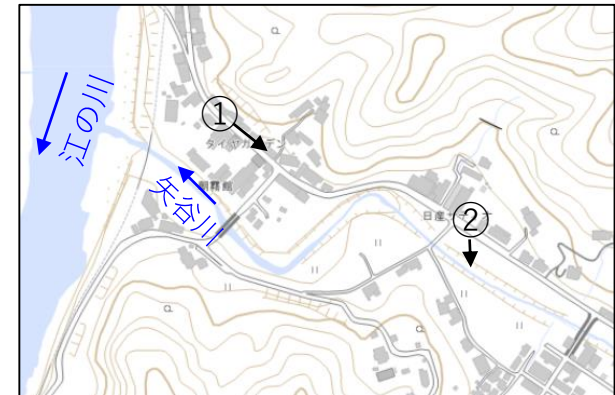
(家屋被害) 床上浸水：10戸、床下浸水：5戸

※家屋被害は7月12日時点の江津市からの被害報告から引用



3. 支川の浸水および被害状況

【川本町谷地区：矢谷川】



床上浸水：38世帯 床下浸水：4世帯
* 事業所、公営住宅を除く

【7月8日 川本町発表資料より】

今回の痕跡水位（昭和47年水害に匹敵）

3. 支川の浸水および被害状況

【都治川】



都治川（松川町下河戸）



都治川（松川町上河戸）



都治川（家屋浸水）

【家屋被害】 床上浸水：1戸、床下浸水：5戸

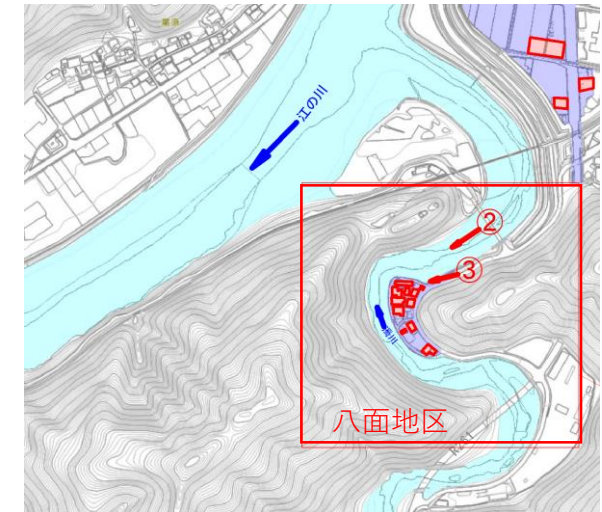
※家屋被害は7月12日時点の江津市からの被害報告より引用

3. 支川の浸水および被害状況

【濁川】



洪水痕跡調査



【家屋被害】

床上浸水：10戸

※家屋被害は7月12日時点の川本町からの被害報告より引用

■イメージ図

※パラペットは元々0.8mで整備されていたが、平成22年に0.8m嵩上げしており、パラペット構造としては限界の高さとなっている

